

1. 第3回振興会議（11/9）の主な意見

	意見概要	反映内容
1	国・県の支援策のほかに、市が新しい施策を創出する必要性を表記すべき。	「3. 経営基盤の強化」において、施策の創出について表記。
2	中小企業等、個別企業への支援について表記すべき。	「3. 経営基盤の強化」において、個別企業への支援について表記。
3	EdTech 導入の前に STEM 教育をしてはどうか。	「4. 人材育成」において、STEM 教育について表記。
4	事業承継をもう少し盛り込むべき。	「3. 経営基盤の強化」「4. 人材育成」において、事業承継について表記。

2. 第3回振興会議（11/9）以降の経過等

年月	市民・関係団体等	庁内・議会
平成30年11月	郡山市経済人会（11/9） ・東京等で活躍している本市ゆかりの経済関係者、有識者 ・郡山市産業アドバイザー 関係団体と市長との意見交換会（11/29） ・中小企業等振興会議 ・郡山商工会議所 ・郡山地区商工会広域協議会 ・郡山市商店街連合会 ・郡山中央工業団地会 ・産総研福島再生可能エネルギー研究所 ・ふくしま医療機器産業推進機構 ・福島県中小企業家同友会郡山地区	庁内連絡会議
12月	パブリックコメント（12/26～1/25）	各派会長会 庁議
平成31年1月		
2月		庁内連絡会議
3月	印刷・製本	
4月	『こおりやま産業持続・発展ビジョン』スタート	

3. 関係団体と市長との意見交換会（主なもの）

団体名	主な意見
郡山市中小企業及び小規模企業振興会議	○都会と自然が共存する郡山の特性を生かしたワークライフバランスの取れた働き方の実現を目指すこと。 ○海外展開に向けた広範囲にわたる事業者のニーズに対応するため、JETRO、JICA と連携し、専門知識や海外とのネットワークを強化すべきである。 ○ビジョンを広く市民に周知し、活用が図れるようにするとともに、中小企業及び小規模企業を振興するための郡山市独自の施策の展開を期待する。
郡山商工会議所	○周辺市町村との広域連携を加速させるとともに、商業・工業・農業各分野のバランスのとれた振興を図り、郡山ならではの産業振興を実現すること。 ○新たな企業誘致、産業創出も重要であるが、若手経営者の人材交流、起業・創業支援等の更なる強化により、活力ある若者への支援が新しい産業の創出や活用に繋がると期待する。
郡山地区商工会広域協議会	○産業をけん引するトップランナーも必要であるし、地域コミュニティを担う小規模事業者などの産業を維持・継続させることも必要である。 ○成長発展ばかりでなく、事業の持続的発展も見据えた地域の人々が住み続けるための産業振興となる政策体系とすべきである。
福島県中小企業家同友会郡山地区	○中小企業家の立場として、産業ビジョンをもとに自覚的・創造的に今後の経営を展開していきたい。 ○地域産業を下支えしている中小企業の存在意義を十分に理解し、中小企業を地域産業の基盤として位置づけ、具体的な政策の推進を目指していただきたい。



関係団体と市長との意見交換会：平成30年11月29日

4. パブリックコメントの実施結果について

実施期間	平成30年12月26日（水）～平成31年1月25日（金）
提出意見	0件